

なにわの日・上海万博大阪市会代表団

出張報告書

- 1 出張目的 友好都市である上海市で開催中の万国博覧会において、7月27日～28日の2日間にわたって開催される「大阪スペシャルデーイベント」への出席をはじめ、各種交流事業への参加を通じて両市の友好親善を図る。また、上海市人民代表大会を表敬訪問するほか、各種先進事例を視察する。
- 2 期間 平成22年7月26日（月）～30日（金）の5日間
- 3 出張先 上海市（中華人民共和国）
- 4 代表団
- | | | |
|----|-----------------------|---------|
| 団長 | 大阪市会議長 | 荒木 幹 男 |
| | 大阪市会運営理事（自由民主党・市民クラブ） | 柳 本 顕 |
| | 大阪市会運営理事（民主党・市民連合） | 松 崎 孔 |
| | 自由民主党・市民クラブ幹事長 | 多賀谷 俊 史 |
| | 公明党副幹事長 | 杉 田 忠 裕 |
| | 公明党幹事 | 漆 原 良 光 |
| | 民主党・市民連合幹事長 | 奥 野 正 美 |
| | 日本共産党幹事長 | 下 田 敏 人 |
| | 大阪維新の会政調会長 | 大 内 啓 治 |



《上海市人民代表大会表敬訪問にて》

訪問・視察先一覧

【7月26日（月）】

- 1) 帆船「あこがれ」入港歓迎式来賓との会見
- 2) 帆船「あこがれ」入港歓迎式

【7月27日（火）】

- 1) 東海大橋海上風力発電所視察
- 2) 洋山深水港視察
- 3) 楊樹浦浄水場視察
- 4) 上海市長表敬訪問
- 5) 大阪－上海友好交流の夕べ

【7月28日（水）】

- 1) 上海環球金融中心視察
- 2) 上海市人民代表大會表敬訪問・歓迎昼食会
- 3) 上海万博視察（中国館、日本館、日本産業館、大阪館）
- 4) 大阪－上海友好盆踊り大会

【7月29日（木）】

- 1) 上海市都市交通施策（リニアモーターカー）視察
- 2) 嘉興経済技術開発区表敬訪問・歓迎昼食会
- 3) 上海市商務委員会表敬訪問

《7月26日（月）》

午前11時頃に上海浦東国際空港に到着しました。空港では、上海市人民代表大會常務委員会外事処の羅副処長があたたかく迎えてくださいました。

1) 帆船「あこがれ」入港歓迎式来賓との会見

空港到着後、バスに乗車し、帆船「あこがれ」が停泊している上海国際クルーズターミナルへ移動しました。「あこがれ」は、大阪・上海青少年交流事業の一環として高校生を中心とする約50名のクルーを乗せ、遣唐使船と同じ軌跡をたどるといふものであり、7月19日に大阪港を出港し、26日に上海港へ入港したばかりでした。

クルー達の8日間にわたる航海の労をねぎらうべく、平松市長と共に、停泊中の「あこがれ」に乗船しましたが、クルー達は、長旅の疲れも見せない真っ黒に日焼けした明るい笑顔で我々を迎えてくれました。船上では、クルー達から航海での出来事や今回の交流事業への意気込みについて聞くことができました。



《帆船「あこがれ」船上にて》



《帆船「あこがれ」》

クルー達との交流を終えた後、上海国際クルーズターミナル内へ移動し、入港歓迎式典に出席される上海市側来賓との会見に臨みました。

大阪市側からは、市会代表団のほか平松市長、丸岡港湾局長、江口 大阪・上海青少年交流事業実行委員長が、上海市側からは、陸海祐 上海国際港務集团董事长、俞北華 虹口区長などが出席し、意見交換を行いました。

陸 董事長からは、「上海万博が開催されているこの時期に、大阪から帆船『あこがれ』が上海に入港されたことは大変喜ばしく、大阪から来た高校生の皆さんを心から歓迎する。同帆船は1994年以降今回で2度目の入港であり、大変懐かしく思う。」との挨拶があり、大阪市側出席者からは、この度の事業への協力に対する感謝の意を伝えました。



《上海市側来賓との会見》



《ブラスバンドによる出迎え》

2) 帆船「あこがれ」入港歓迎式

上海市側来賓との会見後、ターミナル内で行われる入港歓迎式の会場へ移動しました。

式典には、両市来賓のほか、帆船「あこがれ」のクルーをはじめとする両市の関係者が多数出席し、友好交流の架け橋として1,390kmの長旅を終えた「あこがれ」の入港を祝いました。

始めに陸海祐 上海国際港務集团董事长から挨拶があり、続いて江口 大阪・上海青少年交流事業実行委員長より挨拶があった後、俞北華 虹口区長から平松市長と荒木議長宛てに記念品の贈呈が行われました。

【陸海祐 上海国際港務集团董事长の挨拶】

帆船「あこがれ」は、1994年に大阪と上海の友好都市提携20周年を記念して上海に初めて入港し、両市の学生の間で様々な交流事業を行ってきた。そのようなことから、「あこがれ」は両市の青少年達の交流を深める架け橋であると言える。

今回、上海万博のベストシティ実践区へは大阪館が出展されているが、「環境先進都市・水の都大阪の挑戦」をテーマとして、水資源を生かした大阪の人・まち・産業などの都市魅力の発信を目的とされていると伺っており、今回の出展に対し、大阪の皆様へ深く感謝申しあげる。

上海市と大阪市との間には歴史的な繋がりが深く、大阪港は日本の多くの港の中で、上海港と最初に友好港提携を行った港でもある。今後も様々な分野において交流が深まっていくことを期待する。

今回の上海訪問が、実り多きものとなるよう祈念する。



《陸董事長の挨拶》

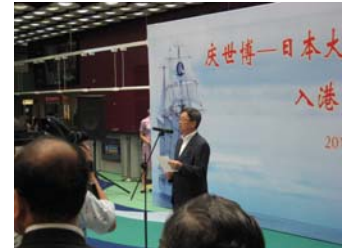
【江口 大阪・上海青少年交流事業実行委員長の挨拶】

本日は盛大な歓迎を受け大変感激している。

大阪市と上海市は今年、友好都市提携36周年を迎え、また、大阪港と上海港は友好港提携29周年を迎えることができたことを大変うれしく思う。

大阪では1970年に「人類の進歩と調和」をテーマに万博が開催され、そのことが大阪発展の大きな契機となったが、このたびの上海万博開催が成功し、上海市がますます発展することを祈念する。

今回派遣した帆船「あこがれ」は、セイルトレーニングを通じて、若者が常日頃忘れがちなチームワークの意義や、社会性、自立心を養うことを目的とした大阪市の船であるが、このたびは両市の友好関係の進展のため、29名の学生達が遣隋使や遣唐使と同じ航路を8日間かけて上海を訪問し、上海の青少年達との様々な友好交流事業を行うこととなっている。帆船「あこがれ」を通じ、両市の若者が緊密な友好関係を築いてくれるものと確信している。今回の趣旨を理解し、協力いただいた皆様に感謝申しあげる。



《江口委員長の挨拶》

式典は、当初はやや硬い雰囲気で行っていましたが、両市代表からの心温まるあいさつの交換や、記念品の贈呈を通じて次第に和やかな雰囲気へと変わり、最後には学生達も含めた全員で記念撮影を行い終了しました。私たち代表団にとっては上海に到着後最初の行事でありましたが、上海市の方々の温かい歓迎ぶりを目の当たりにし、これまで長年培ってきた両市の友好関係が、非常に緊密なものとなっていることを実感することができました。



《 兪 虹口区長より記念品の贈呈 》



《出席者全員による記念撮影》

◀ 7月27日（火） ▶

1) 東海大橋海上風力発電所視察

朝8時にバスでホテルを出発し、約2時間ほどかけて、東海大橋海上風力発電所に到着しました。この発電所は、上海市東南端に位置する南匯区と、東シナ海の沖合いの埋め立て地にある洋山深水港の間に架かる東海大橋付近に建設されたアジア初の海上大型風力発電施設であり、本年2月に全発電ユニットの設置が完了したばかりでした。

現地での視察は東海大橋の橋上で行われ、風力発電所に相応しい強風が吹き荒れる中、上海綠色環保能源有限公司の唐 総経理から施設概要やプロジェクトの進行状況等について説明を聴取しました。

【唐 総経理の説明】

この発電施設は、国家發展改革委員会が2008年5月に審査・認可した中国初の海上大型風力発電施設であり、1ユニットあたりの設備容量は3メガワット、全34基の総設備容量は102メガワットである。1基当たりの重量は約430トンであり、支柱の高さは91メートル、ブレード（羽根）の直径は90メートルであり、設計から施行まで全て国内の技術により建設されたものである。

計画にあたり、当初は風力発電の先進地であるヨーロッパの技術を使用することを考えたが、予算的な問題から断念し、自国の技術を活用する方向へ方針をシフトした。建設の過程においては様々な困難に直面したが、国内の関係機関や大学等の協力により期限までに無事完成させることができた。

実際には、ヨーロッパの技術やデザインに比べると差があることは否めないが、このプロジェクトを通じて、設計から施行に係る多くの人材やノウハウを蓄積することができたことは、中国にとって大変大きな財産となった。

中国で発電と言えば、現在は火力発電が圧倒的な割合を占めているが、地球温暖化問題の深刻化に伴い、2020年度の再生可能エネルギーの発電能力を2008年度の約1.3倍に引き上げる方針を国家エネルギー局が打ち出した。しかしながら、この目標を達成するためには東海大橋風力発電所と同規模の施設を毎年10箇所建設する必要があり、容易なことではないが、既に江蘇州でも総設備容量100メガワット級の施設建設がスタートしており、目標達成に向けて努力してまいりたいと考えている。

◇ 質問：この発電所で発電される電力は、上海市のどれくらいの世帯をカバーしているか。

◆ 答え：約40万世帯である。

◇ 質問：海上に建設しているということで、塩害の心配はないか。

◆ 答え：腐食防止の処置は十分に行っているため、塩害の心配はないと考えて

いる。

◇ 質問：中国の発電量における火力発電の比率はどの程度か。

◆ 答え：約8割程度である。

◇ 質問：この発電所の総工費はどのくらいか。

◆ 答え：約23億6千万元である。

中国では、飛躍的な経済成長に伴いCO₂排出量も急激に増加しているが、国家的なプロジェクトとして、CO₂削減に向けた壮大な計画を打ち出し、膨大な人的・物的資源の活用と、予算の集中投下により、着々と目標達成に向けて動いていく、中国という国の底知れぬ力をまざまざと感じ、大きな衝撃を受けました。

また、膨大な予算の投下に伴い、経済への波及効果も大変大きいものがあると思われ、今後もさらなる経済発展が見込まれることから、予算の効率的な投資という面でも、大阪市政にとって大いに参考にすべきものでありました。



《海上に林立する発電ユニット》



《東海大橋橋上にて》

2) 洋山深水港視察

風力発電所の視察を終えた後、再びバスに乗車し、東海大橋の終着点に位置する洋山深水港に到着しました。この港は、上海市南匯区の東南30kmの沖合いにあった島々を埋め立てることにより広大な敷地を確保し、国際ハブ港湾の実現を目的に国家的プロジェクトとして建設された最新式のコンテナ港湾であります。

敷地内の高台には港を一望することができる展望施設があり、そこで洋山同盛連合投資友展有限公司の任 総経理から説明を聴取しました。

【任 総経理の説明】

上海にはかねてから揚子江河口に港があったが、経済発展に伴う輸出入量の増加とコンテナ取扱数の急増により、港の許容量が限界に達していた。

また、港の水深が約8mしかなく、年々大型化するコンテナ船の入港が困難になりつつあった。

しかしながら、従来の上海港では、水深を深くし大深水埠頭や航路を建設することは技術的に困難であったため、東シナ海に新たな港を建設することが計画された。

近年では15メートル以上の水深を持つ港が世界各地で建設されており、洋山港もそのレベルの達成を目指し、2002年から4期に分けて建設が進められた。

現時点では第3期までが完成し、2012年の第4期完成時点におけるバース数は30となり、年間1500万TEU以上のコンテナを取り扱うことができる予定であるが、将来的には、50バースまで拡大させることも見込んでいる。

また、洋山港は中国本土初の保税港に指定され、国から各種の優遇政策を受けているため、国際競争力という点でも大変有利である。

◇ 質問：港湾区域内には居住地域はあるか。

◆ 答え：港が建設される以前は約1000世帯が居住していたが、現在は全て本土に移住したため、現在は居住者はいない。

◇ 質問：現在の年間コンテナ取扱数はどれくらいか。

◆ 答え：昨年は世界的な不況により取扱量は減少したが、徐々に回復しており、今年は約800万TEUを見込んでいる。

◇ 質問：将来的に水深をさらに深くする計画はあるか。

◆ 答え：現在の水深は15～17mであり、十分な水深が確保されているため、今以上に深くする計画はない。

上海市政府は「国際的な経済の中心、金融の中心、貿易の中心、海運の中心の実現」という目標のもと、急ピッチでインフラ整備を進めており、洋山深水港も世界を代表する国際ハブ港湾という名に相応しい壮大な港でありました。前述の風力発電所と同様、国家的なプロジェクトには莫大な予算を投下し、機能・規模共に世界最高水準を達成しようとする中国の意思がはっきりと伝わってきました。

特に、港の建設用地を確保するために、本土から約30kmも離れた海上まで橋を架けるという発想は、我々の常識をはるかに超えたものでありました。



《施設模型による説明》



《展望施設より望む洋山港》

3) 楊樹浦浄水場視察

楊樹浦浄水場は、1883年に上海市の中心部を流れる黄浦江沿いに建設された上海市で最も古い浄水場です。

浄水場到着後、まず、上海市水務局の陳 副局長から説明を受け、その後、場内各施設の見学を行いました。

【陳 副局長の説明】

楊樹浦浄水場は1883年に創設されたものであり、大阪市と同じ英国人技師によって設計されたものである。

施設能力は、1日当たり148万立方メートルであり、平均給水量は1日当たり約110万立方メートルである。上海市全体の給水量は、1日当たり1000万立方メートルを超えており、市内には浄水場数が大小合わせて146箇所ある。

上海市の水道事業は、4つの主要水道公社により運営されており、その4つの公社を上海市水務局が統括している。

処理方法としては、従来处理に併せ、一部は高度処理を行う施設も備えており、高度処理においては、大阪市と同様、生物活性炭を使用している。高度処理については、市民の生活レベル向上のためにも随時拡大していく予定であるが、大阪市では、高度処理により大変おいしい水を市民に提供されていると伺っており、その技術や経験を上海市の水道事業の大いに参考にさせていただきたいと考えている。

上海市水務局では、1988年以降、毎年大阪市水道局との間で技術交流を行ってきており、水道事業を通じて、上海市と大阪市の関係がより一層深まっていくことを期待している。

◇ 質問：上海市内全世帯に高度処理水を供給できるようになるまでには、何年かかるか。

◆ 答え：はっきりとしたことは分からない。

◇ 質問：楊樹浦浄水場の水源はどこか。

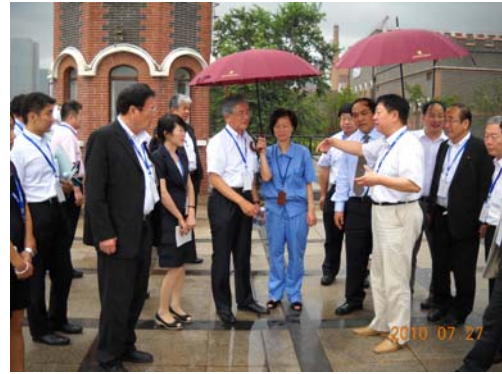
◆ 答え：主には黄浦江から取水しており、一部を揚子江から取水している。現在、揚子江において新たな取水施設を建設中であり、2012年に完成予定である。完成すれば、より水質の良い水を大量に取水することができる予定である。

◇ 質問：市域が広い分、配管の長さもかなり長いと思うが、メンテナンスはどの程度行っているか。

◆ 答え：毎年数10kmのペースで更新工事を行っている。



《陳 副局長からの説明》



《浄水場内の見学》

4) 上海市長表敬訪問

上海国際会議中心7階明珠庁(Pearl Room)において、韓正上海市長をはじめ、胡煒上海市人民代表大会常務委員会副主任、唐登傑副市長などの出迎えを受け、上海市長表敬を行ないました。大阪側からは、橋下大阪府知事、平松市長の他、大阪府議会、大阪市会、枚方市、八尾市などの関係者が出席し、上海側出席者と意見交換を行いました。

まず始めに、韓市長から挨拶があり、続いて橋下知事、平松市長から挨拶がありました。

【韓市長の挨拶（要旨）】

大阪は、1970年に大阪万博を、1990年には花博を成功させた豊富な経験を持っており、その大阪の協力により、上海万博を成功させることができた。

これからも引き続き友好都市として協力し、共に発展していくことを期待している。

【橋下知事の挨拶（要旨）】

上海万博が大阪万博より早いペースで入場者数累計3000万人を突破されたことは大変素晴らしいことである。

この度の大阪スペシャルデーイベントでは、上海万博を大いに盛り上げ、大阪の活気・活力を、上海をはじめとする中国の方々に感じていただきたい。そして、大阪・関西と上海、ひいては日中間の友好関係をさらに深めてまいりたい。

【平松市長の挨拶（要旨）】

大阪と上海は様々な分野で友好関係を築いてきた。

昨日も大阪から高校生が帆船「あこがれ」に乗って上海に到着したが、上海の青少年たちと交流を深めてくれることだろう。

今後も多方面で大阪と上海の友好関係が深まっていくことを願っている。



《上海市長への表敬訪問》



《平松市長より韓市長へ記念品の贈呈》

5) 大阪－上海友好交流の夕べ

上海市長表敬訪問に引き続き、上海国際会議中心7階上海庁（Grand Ballroom）において、上海市、大阪市、大阪府、上海万博大阪出展実行委員会主催による上海万博大阪スペシャルデーイベント前夜祭「大阪－上海友好交流の夕べ」が開催されました。

そもそも大阪スペシャルデーイベントとは、上海万博の出展都市が会期中の1日をスペシャルデーに指定し、それぞれの都市の文化や伝統芸能を紹介するものであり、大阪については7月28日を「7・28（なにわ）の日」と指定し、各種イベントを開催するものでありました。

交流の夕べは、その前夜祭として開催されたものでありましたが、当日は上海万博大阪スペシャルデーイベント応援ツアーに参加された一般の方々を含め、大阪側からは520名、上海側からは152名の方々が出席され、盛大に開催されました。

まず始めに、上海市の韓市長から開会の挨拶があり、続いて橋下知事、平松市長から挨拶がありました。

【韓市長の挨拶（要旨）】

大阪の上海万博への多大なるご支援に感謝する。

上海市と大阪府は友好都市提携30周年、大阪市とは36周年あたり、これまで多方面にわたり交流を深めてきたが、これからも手を携えて、双方の発展のために貢献してまいりたい。

大阪は、1970年に大阪万博を、1990年に花博を成功させた経験を持っており、現在上海万博に出展されている大阪館も大変人気を博している。

大阪スペシャルデーイベントも必ず成功することと思う。

【橋下知事の挨拶（要旨）】

上海万博大阪出展をはじめとして、人、経済、観光など様々な面で両都市間の交流はますます深まり、友好関係は揺ぎ無いものとなっている。大阪の夏の風物詩である盆踊りで大阪のパワーを披露し、上海万博大阪スペシャルデーを盛り上

げると共に、大阪と上海・中国の皆様と一緒に輪になって踊り、大阪と上海、日本と中国の友好の輪をさらに広げてまいりたい。

【平松市長の挨拶（要旨）】

大阪と上海の交流は長く、多方面に広がっており、たとえば帆船「あこがれ」で大阪の高校生が上海へ渡り、上海の学生との交流を通して友好親善を深めていることは大変喜ばしいことである。

また、大阪館も好評で、7月21日には来館者数が70万人を達成するなど多くの方に来館いただいている。今後も上海、中国、そして世界中の多くの皆さんに大阪館に来ていただき、水都大阪の魅力と、環境技術を知っていただきたい。

両都市代表からの挨拶の後、記念品交換が行われ、続いて両市伝統芸能の披露が行われました。まず上海側からは、江南地方の伝統芸能として女子群舞「江南秀色」が披露されました。大阪側からは、中村美律子さんの「河内おとこ節」と河内家菊水丸さんの「河内音頭」が披露され、会場の出席者と共に大いに盛り上がりました。



《橋下知事、平松市長から韓市長へ記念品贈呈》



《河内家菊水丸さんによる「河内音頭」》



“上海大阪友好之夜”举行 韩正预祝世博大阪案例“特别日”成功

本报讯 (记者 沈轶伦) 昨天晚上,“上海—大阪友好之夜”庆祝招待会在国际会议中心举行,中日双方各界友好人士近700人齐聚一堂,共同庆祝上海与大阪多年来所取得合作的硕果,祝愿两地友谊万古长青。上海市市长韩正出席活动并致辞。

(下转第7版)

“上海大阪友好之夜”举行

(上接第1版)韩正代表上海市人民政府和上海人民对大阪各界友好人士访问上海表示热烈的欢迎,并感谢大阪给予上海世博会的大力支持。他说,今年是上海市与大阪府缔结友好城市30周年,与大阪市缔结友好城市36周年。许多年来,上海与大阪之间在经贸、城建、环保、文化等诸多领域的合作交流富有成效,有力地促进了两地共同发展,两地人民结下了深厚友谊。我们愿与大阪携手,进一步拓宽合作领域,提升合作层次,为推动中日友好关系不断向前发展作出积极的贡献。

韩正说,大阪曾经在1970年举办过世博会,1990年举办过国际花博会,有着丰富的办博经验。大阪在本届上海世博会上展出的城市最佳实践区案例非常精

彩,广受欢迎,相信大阪案例“特别日”活动也将取得圆满成功。

日本大阪府知事桥下彻、大阪市长平松邦夫在致辞中表示,大阪和上海保持着长久的合作友好关系,希望在未来进一步加强双方的交流往来,互相合作、互相支持。他们希望有更多的上海市民、中国朋友来世博园参观大阪在城市最佳实践区的展示,让两地人民不断增进了解,加深友谊,携手并肩取得更好的发展。

在庆祝招待会的演出上,来自上海的艺术家献上了一曲精彩的舞蹈,日本歌唱家独具韵味的演唱表演也引来阵阵掌声。

活动前,韩正会见了由桥下彻、平松邦夫率领的代表团。上海市人大常委会副主任胡炜、副市长唐登杰出席昨天的活动。

(要約)

「上海大阪友好の夜」が行われる 韓正市長が大阪スペシャルデーの成功を祈念

昨晚、「上海—大阪友好の夕べ」が国際会议中心で行なわれ、中日双方界から700名が出席、上海と大阪の長年にわたる交流の成果を祝い、互いの友好関係の永続を願った。韓正上海市長が出席し、挨拶の言葉を述べている。

「上海市人民政府と上海市民を代表し、大阪のみなさんの上海訪問を熱烈に歓迎するとともに、大阪の上海万博への多大なる支援に感謝します。」

「今年上海市と大阪府が友好都市となって30周年、大阪市とは36周年になり、長きにわたって、経済、インフラ、環境保全、文化などさまざまな分野において活発な交流を行い、双方の発展と市民の友好を深めてきました。我々は、今後も大阪と手を携え、さらに広い分野で、より高いレベルで協力し、中日友好関係のさらなる発展に貢献したい。」

「大阪は、1970年に万博を開催し、1990年には国際花と緑の博覧会を開催した豊富な経験を持っています。その大阪が今回の上海万博において、ベストシティ実践区に出展し、人気を博しています。大阪スペシャルデーイベントもきっと成功することでしょう。」

橋下徹大阪府知事と平松邦夫大阪市長は、挨拶の中で、「大阪と上海は長年の協力関係にある。将来、互いの友好関係がさらに深まり、互いに協力、支持しあうことを願い、より多くの上海市民、中国の方が万博会場内の大阪館を訪れ、両国の人々が理解と親善を深めて、両地域の更なる発展を祈る。」と語った。

イベントでは、上海からの舞踊の演技、日本の歌手らが日本独特の演歌などを披露していた。

また、イベント前には、韓正市長が橋下知事、平松市長をはじめとする代表団と会見し、上海市人民代表大会常務委員会副主任の胡炜氏、唐登傑副市長が友好の夕べのイベントに出席した。